

- 〔主 催〕 国立曾爾青少年自然の家  
 〔期 日〕 令和7年5月3日（土・祝）～5月4日（日・祝）  
 〔対 象 者〕 小学生・幼児を含む家族  
 〔参 加〕 45名（大人42名、子ども46名）  
 〔担 当〕 菱川 裕輝（企画指導専門職付主任）  
 百田 恵美（事業推進係員）  
 増田 学（企画指導専門職）



## 1 目的（趣 旨）

- ・（青少年の自立） 体験活動を通して、青少年の健全育成を図る。また、「もう一度曾爾に行きたい」という意欲を喚起し継続的な体験活動につながるよう多様な活動を提供することにより、継続的な青少年の健全育成の場を作る。
- ・（地方創生） 村内事業者と連携し、体験プログラムを提供することで、参加者に曾爾村の独自の文化や自然を体感してもらえらるきかける。

## 2 プログラム展開

| 日程  | AM                                                         | PM                                          | NIGHT                                      |
|-----|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 5/3 |                                                            | 集合 オリエンテーション<br>固定プログラム<br>・野外炊事<br>・火起こし体験 | フリータイム<br>・焚火ブース<br>・曾爾のもの試飲ブース<br>・ナイトハイク |
| 5/4 | 選択プログラム<br>A 曾爾村体験プログラム<br>B フォトテレーリング（施設内）<br>11時 30 分 解散 |                                             |                                            |

## 3 活動の様子



【火起こし体験】



【夜プログラム】



【選択プログラム ピザ作り】



【選択プログラム 農業体験】

## 4 まとめ（参加者の感想から）

### 【子どもの感想】

- ・ ファイアースターターを使って火を起こせたのがうれしかった。
- ・ 藍の葉を見て、自然って面白いと思った。
- ・ 竹を割ったり、畑をやってみたりしたくなった。

### 【保護者の感想】

- ・ 不登校気味の子が、1 日中起きて活動できたことに感動した。普段は家で横になっていることが多かったため、親として大きな喜びを感じた。
- ・ 子どもが自分のやりたいことを自分で選び、主体的に活動できる環境が整っていたのがよかった。
- ・ 親子でドローンの仕組みや活用方法を学び、子どもが実際に操縦できた。高価なものであるため、ソフトで練習してから実際に触る流れが良かった。屋外でのドローン飛行見学では歓声が上がり、とても楽しかった。子どもの興味を深める体験ができて良かった。